

対象機種	LEDG87935YL(W)-LS LEDG87935YN(W)-LS
------	-------------------------------------

このたびは東芝LED照明器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

ON/OFFセンサー付照明器具

1. 人感センサーが人の動きをキャッチして自動的に点灯する機能を持っています。
2. 照度センサーを内蔵していますので、周囲が明るい時は点灯しないように設定できます。
3. 壁スイッチの操作で連続点灯させることができます。

事前にご確認ください。

- (2ページの「■器具を取り付ける前」にご確認ください。)
- 必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
 - 1つの壁スイッチで指定器具5台までご使用いただけます。
 - 調光器のついている回路ではご使用になれません。
 - 表示灯付スイッチと組み合わせる場合は弊社製品をご使用ください。(弊社商品名: オフピカスイッチ)
他社製表示灯スイッチとの組み合わせはできません。誤動作の原因となります。

■工事店様へ 施工上のご注意 ●照明機器の電気工事は、主任電気工事士の管理が義務付けられています。 ●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

<p>警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ●器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従い行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。 ●電源接続の際は、取扱説明書に従ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。 ●施工時において絶縁体にナイフ等のキズが付いた状態で通電されると、絶縁破壊が生じ電線が焼損する原因となります。 ●器具の取り付けには方向性があります。本体表示並びに取扱説明書に従ってください。指定以外の取り付けを行うと器具の落下、感電、火災の原因となります。 ●調光器(当社商品名コントロールクスなど)による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線でご使用になりますと短寿命の原因となります。 <p style="text-align: right;">取り付け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●アース工事は電気設備技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。(D種(第三種)接地工事) ●この器具は海上や臨海部などの重塩害地、沿岸部の塩害地には使用できません。早期の錆発生、器具落下の原因となります。 ●この器具は腐食性ガス雰囲気(温泉地など)では使用できません。変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。 ●この器具は激しい震動・衝撃の加わる可能性のある場所、常時振動のある場所には使用できません。絶縁不良、器具落下の原因となります。 ●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。落下、感電、火災の原因となります。 <p style="text-align: right;">アース工事 使用環境 改造</p>

<p>注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ●交流100V以外の電圧で使用しないでください。上記以外の電圧を加えると、器具やランプの寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。 ●周囲温度が35℃を超える場所では使用しないでください。点灯不良や火災の原因となります。 ●風の強い場所では使用しないでください。落下の原因となります。 <p style="text-align: right;">電源電圧</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●人がぶら下がったり、踏みつけたり、引張ったり、押ししたりするような場所には取り付けしないでください。落下や破損の原因となります。 ●十分な強度のある面に取り付けてください。落下の原因となります。 ●樹脂系の塗料で塗装された壁などに取り付けますと、雨じみが発生する場合があります。 ●器具に1mを超える積雪の可能性のある場所には使用しないでください。器具落下の原因となります。(使用する場合は必ず除雪を行ってください。) <p style="text-align: right;">使用環境</p>

■お客様へ 使用上のご注意 ●この器具の取り付け、取りはずしには電気工事士の資格が必要です。取り付け、取りはずしは、販売店、工事店に依頼してください。 ●お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

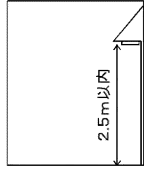
<p>警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。落下、感電、火災の原因となります。 ●お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れ等によりカバーをはずし、再度取り付ける場合には、取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると、水・水気の浸入による絶縁不良、感電、カバーの落下の原因となります。
<p>注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ●点灯中及び消灯直後は、器具が高温になりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。 ●布や紙などを被せたりしないでください。火災の原因となります。 <p style="text-align: right;">高温</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷をつけたり腐食の原因となります。 ●カバー、セード等の樹脂部品には洗剤や薬品等を使用しないでください。部品の劣化の原因となります。 <p style="text-align: right;">保守</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●LED電源ユニットは器具組み込みのため、交換はできません。 	

■ 器具を取り付ける前に

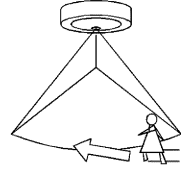
- 必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
- 1つの壁スイッチで指定器具5台までご使用いただけます。(連動させるには、5ページの「配線図」を参照してください。)
- 調光器のついていない回路ではご使用になれません。
- 器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。
- 蛍光灯やLEDの光が入らない場所に取り付けてください。(センサー誤動作の原因になります。)
- 消火栓の表示灯などの赤色の光が入らない場所に取り付けてください。(センサー誤動作の原因になります。)

人感センサースイッチの検知エリアを考慮して器具を設置してください。

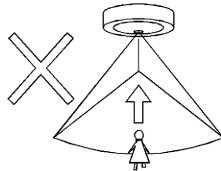
- 高さ2.5m以内に設置してください。



- センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。



- センサーに向かって人が近づくような位置に器具を設置すると、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。



- 雨や雪などをセンサーが検知して器具が点灯する場合がありますが、故障ではありません。

■ 次のような場所には取り付けないでください。(検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります。)

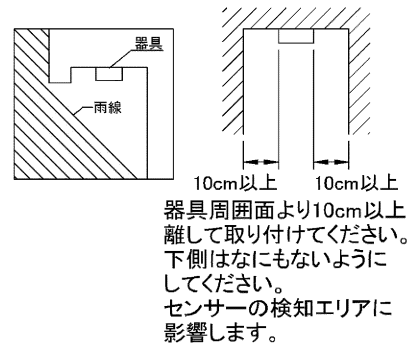
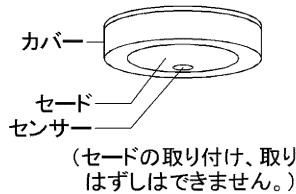
<p>検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所へはお避けください。</p>	<p>車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。</p>	<p>昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。(取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられます。)</p>
<p>前面に障害物のある場所。(透明なガラスでも遮断されます。)</p>	<p>風などでよくゆれるのれんや植物などがある場所。</p>	<p>エアコンなどの排気口の近く。排気口に対向する場所。</p>
<p>大理石など反射の強い床面のある場所。</p>	<p>検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。</p>	<p>取付高さが2.5m以上になる場所。</p>

■各部のなまえ

※この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

屋外用

防雨形(雨線内取付専用)
天井面取付専用
傾斜天井面取付不可
壁面・床置取付不可
＜ボックス取付可※＞



※ボックス取付用ねじは付属していません。
※JIS C 8340適合の66.7mm・83.5mmピッチに取り付けられます。
※ボックス使用時、φ20穴および98mmピッチ取付穴は使用できません。

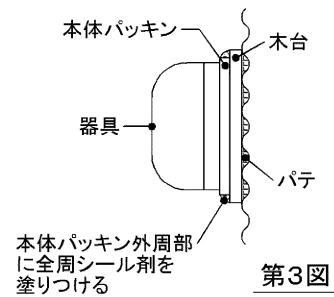
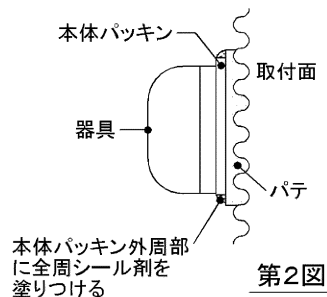
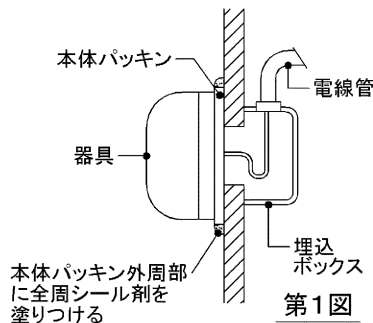
●付属品

- ・絶縁座付木ねじ・・・2本(φ3.8×38mm)
- ・エアアカットシール・・・1枚

■器具取り付け時の注意事項

△注意

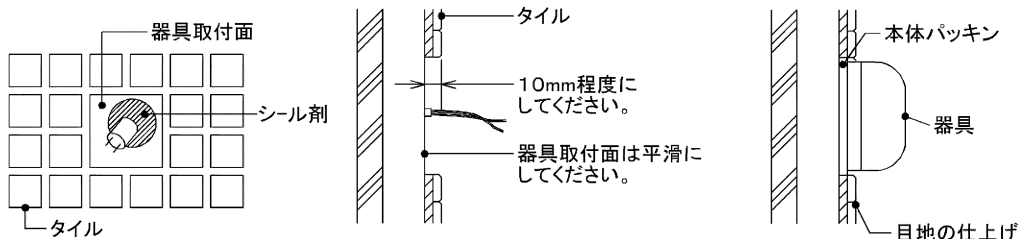
- 器具を取り付ける際は、器具取付部の本体パッキンが取付面と器具に、必ず密着するようにしてください。
- 高湿度内で長時間ご使用の場合は点灯・消灯による呼吸作用を回避するため、第1図のような工事を行ってください。
- 器具の取付面は、本体パッキンよりも大きくしてください。(第2図・第3図)
- 裏面から雨が掛かるような取り付けはしないでください。
- 取付面に凸凹がある場合は、パテ等で凸凹をなくすか、防水用シール剤等で器具(木台)と取付面のスキマを埋めるようにしてください。(第2図・第3図)
- 埋込ボックス等に取り付ける場合は、取付用ねじに金属製のワッシャー等をはめてから器具を取り付けてください。(ボックス取付用ねじは付属されていません。)
- 器具を逆向きに取り付けると、防水性が損なわれます。正しい向きで取り付けてください。



※「本体パッキンと取付面より外周部全周にシール剤を塗りつける」または、「本体パッキンと取付面全体をシール剤で塗りつける」などを行い、確実に防水するようにしてください。
また、電源線の引出部にもシール剤で防水処理をしてください。

●タイルモジュールの場合

- ①器具の取付面を確保してください。取付面は本体パッキンよりも大きくしてください。
 - ・電源線は中央から正確に出してください。
 - ・電源線の引出部は、シール剤で防水処理をしてください。
- ②器具の取付面を平滑にしてください。
注) 器具の取付面に凸凹があると、器具取付部の本体パッキンの防水性が損なわれ感電のおそれがあります。ご注意ください。
- ③器具の取り付け後、目地部の仕上げをします。
 - ・目地仕上げには、目地用モルタルまたは、市販の防水用シール剤で仕上げてください。漏水の原因にもなりかねませんので、目地仕上げには十分注意してください。



※防水用シール剤はカビの発生防止、耐久性に優れたものをお選びください。

△警告

感電、落下の原因となります。
取り付けの際は取付面の凸凹を調べて平滑な所に取り付けてください。
造営物によっては、ポリ台・木台を使用してください。
取り付けが不十分ですと、湿気・水気の浸入による絶縁不良・感電の原因となります。

■ 器具の取り付けかた ※器具取り付けの際は必ず電源を切ってください。

図-1

1. 器具取り付けの前に

- カバーを左側に回して本体から取りはずしてください。(図-1)
- マイナスドライバーで化粧ナット(パッキン付)(2個)を左に回転させてゆるめ、サポートを本体から取りはずしてください。(図-1)

2. 器具を取り付ける

- 図-2の取付寸法図を参照し、取付面より電源線を引き出してください。(図-2)
- サポートの電源線用穴から電源線とアース線を必ず引き出してください。送り配線をする場合も、サポートの電源線用穴から接続線を引き出してください。
- サポートを付属の絶縁座付木ねじ(2本)で確実に取り付けてください。

注意

- ベースパッキンがサポートに取り付けられているか確認してください。
- 取り付けの際に、電源線とアース線をベースパッキンと取付面との間ではさまないように注意してください。
- 木ねじを取り付ける際に、木ねじを締め過ぎないように注意してください。締め過ぎるとサポートの反り上がりの原因となります。
- サポートを取り付けた状態で、サポートが反り上がっている場合は、98mmピッチ取付穴に木ねじ(別途用意)を追加して取り付けてください。(図-2)

- 電源線の被覆をSL端子台のストリップゲージに合わせて、むいてください。(8~9mm) (図-3)
- 電源線をSL端子台に確実に奥まで差し込んでください。(図-3)
※ 送り配線容量は10Aまで。接続台数は当器具含め5台まで。
※ センサーと連動させる場合は「センサー連動させる場合」と「指定器具と接続台数」と「配線図」と「グループが異なる(連動していない)器具の設置距離」と「同一(連動)グループ内での器具の設置距離」を参照してください。(5ページ・6ページ)
- アース線をアースねじに取り付けてください。(図-1)
- サポートの取付ねじと本体の取付穴位置を合わせ、マイナスドライバーを使用して化粧ナット(パッキン付)(2個)でサポートに本体を取り付けてください。(図-1)
※ サポートに本体を取り付ける前に、あらかじめ電源線とアース線を電源線用穴に向けて、曲げ癖を付けておいてください。(図-4)

※ ベースパッキンの立ち上げ部分に本体が乗り上げないようにしてください。(図-1)

- ゴム栓をはずして、センサースイッチをお好みのモードに合わせてください。(図-1)(7~8ページ参照)
※ 出荷時は、テストモードに設定されています。

注意

- ゴム栓をセンサースイッチ部に確実に取り付けてください。(図-1)
- ※ 取り付けが不十分ですと湿気の浸入による故障の原因となります。

図-2 取付寸法図

図-3 SL端子台

図-4 コード曲げ癖

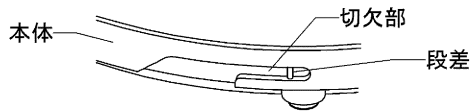


図-5 本体の切欠部

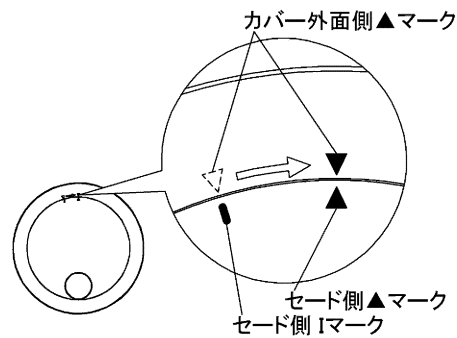


図-6 カバー取り付け固定位置

- ⑩ セード側のIマークとカバー外面側の▲マークを合わせてください。(図-6)
- ⑪ カバー内面の突起(2箇所)を本体の切欠部に差し込んで、カバーを本体に被せてください。(図-1・図-5)

※カバーを本体に被せる際に、ベースパッキンの立ち上げ部分がカバーの内側に入ってしまうように注意してください。(図-1)

▲注意

- ⑫ カバー内面の突起部が本体の切欠部の段差をのりこえて、カバー外面側の▲マークがセード側の▲マークの位置に合わさって完全に止まるまで、カバーを右側に回して取り付けてください。
- ※ ▲マーク同士が合わさって完全に止まる位置でないと、カバー落下の原因となります。(図-1・図-5・図-6)

センサー連動させる場合

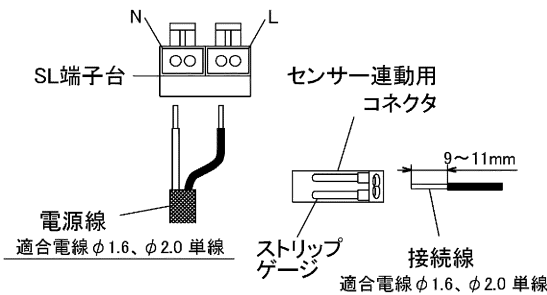


図-7 センサー連動させる場合

※「配線図」を参照してください。

※常時通電の電源送りはできません。

- ① 図-2の取付寸法図を参照し、取付面より接続線を引き出してください。(図-2)
- ② サポートの電源線用穴から接続線を引き出してください。(図-1)
- ③ 接続線の被覆をセンサー連動用コネクタのストリップゲージに合わせて、むいてください。(9~11mm)(図-7)
- ④ センサー連動用コネクタに接続線を確実に奥まで差し込んでください。(図-7)

▲警告

※器具側電線、ストッパーは引っ張ったりはずしたりしないでください。センサー連動用コネクタに接続線を差し込む、または引き抜く際に無理な力を加えないでください。センサー連動用コネクタに付いている灰色のストッパーがはずれて器具側電線が抜けてしまう恐れがあります。(図-8) 感電、落下の原因となります。

センサー連動用コネクタのはずしかた

接続線を左右にねじり引き抜いてください。
※再結線の際は傷ついた電線を切り捨て、新しくむきだしてください。

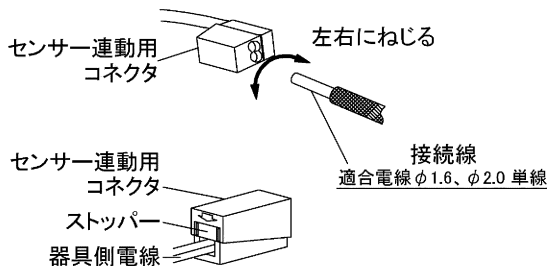


図-8 ストッパー外れ注意

指定器具と接続台数 ・軒下シーリング

センサー付		センサーなし			
形名	台数	形名	形名	形名	台数
LEDG87934YL(K)-LS	1台	LEDG87934L(K)-LS	LEDG87935L(K)-LS	LEDG87938L(K)-LS	0~4台まで
LEDG87934YL(S)-LS		LEDG87934L(S)-LS	LEDG87935L(S)-LS	LEDG87938L(S)-LS	
LEDG87934YL(W)-LS		LEDG87934L(W)-LS	LEDG87935L(W)-LS	LEDG87938L(W)-LS	
LEDG87934YN(K)-LS	2台	LEDG87934N(K)-LS	LEDG87935N(K)-LS	LEDG87938N(K)-LS	0~3台まで
LEDG87934YN(S)-LS		LEDG87934N(S)-LS	LEDG87935N(S)-LS	LEDG87938N(S)-LS	
LEDG87934YN(W)-LS	3台	LEDG87934N(W)-LS	LEDG87935N(W)-LS	LEDG87938N(W)-LS	0~2台まで
LEDG87935YL(K)-LS		LEDG87945L(K)-LS	LEDG87945L(K)-LS	LEDG87945L(K)-LS	
LEDG87935YL(S)-LS		LEDG87945L(S)-LS	LEDG87945L(S)-LS	LEDG87945L(S)-LS	
LEDG87935YL(W)-LS	4台	LEDG87945L(W)-LS	LEDG87945L(W)-LS	LEDG87945L(W)-LS	0~1台まで
LEDG87935YN(K)-LS		LEDG87945N(K)-LS	LEDG87945N(K)-LS	LEDG87945N(K)-LS	
LEDG87935YN(S)-LS	5台	LEDG87945N(S)-LS	LEDG87945N(S)-LS	LEDG87945N(S)-LS	0台
LEDG87935YN(W)-LS		LEDG87945N(W)-LS	LEDG87945N(W)-LS	LEDG87945N(W)-LS	

配線図

<連動可動台数>

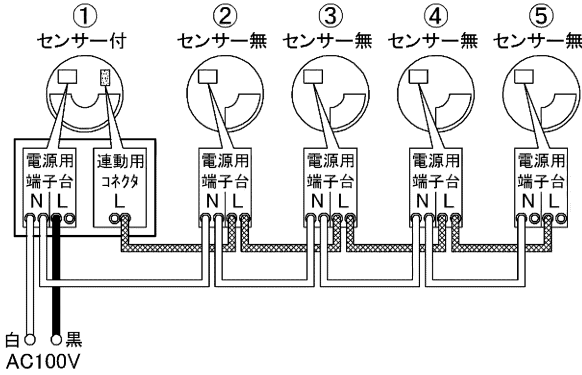
・指定器具5台まで(※当器具含む)(指定器具については、5ページの「指定器具と接続台数」を確認してください。)

注意 ●親機が2つ以上グループに入る場合は極性を間違えると白と黒の短絡が発生しますのでご注意ください。

施工例①

・センサー付1台にセンサー無を接続する場合
(センサー無タイプ 4台まで 接続可)

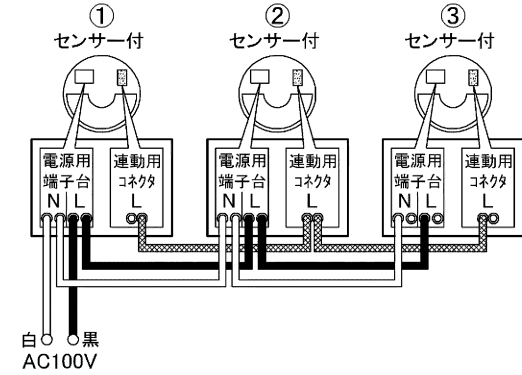
①が検知すると、②～⑤も連動して点灯します。



施工例②

・センサー付タイプだけを接続する場合
(センサー付タイプ 当器具含め5台まで 接続可)

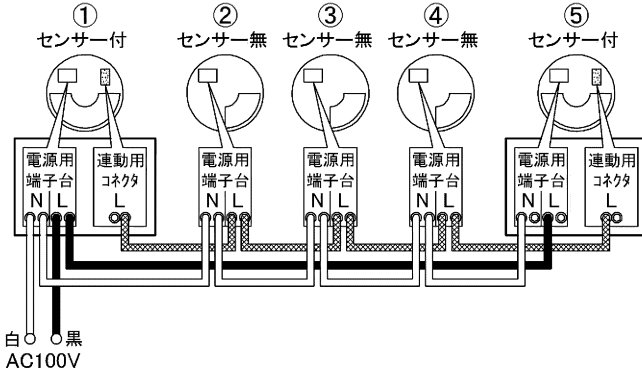
①②③どこから検知した場合でも、連動して点灯します。
※点灯時間は最後に検知したセンサー付タイプの動作設定のモードに従います。



施工例③

・センサー付2台にセンサー無を接続する場合
(センサー無タイプ 3台まで 接続可)

①が検知すると、②～⑤も連動して点灯します。
⑤から検知した場合でも、①～④が連動して点灯します。
※点灯時間は最後に検知したセンサー付タイプの動作設定のモードに従います。



◎センサー付が2台以上あるグループで、6h(8h)タイマーモードに設定する場合
(該当するのは施工例②・③になります。)

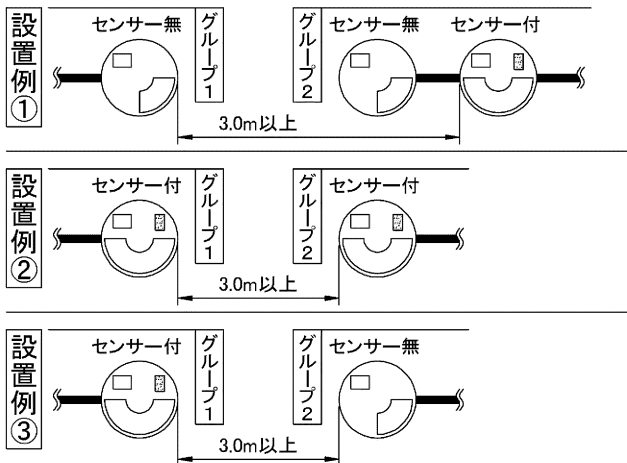
1つのグループにつき“6h(8h)タイマーモード”に設定した器具は1台のみ、残りは必ず“ON/OFFモード”に設定してください。

注意 ●1つのグループに“6h(8h)タイマーモード”に設定した器具が2台以上あると、設定したモード通りの動作を行いません。
“6h(8h)タイマーモード”に設定した器具は、必ず1つのグループにつき1台のみにしてください。

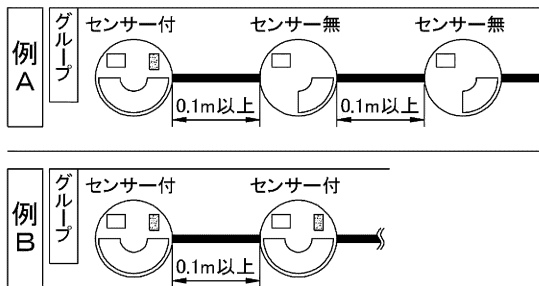
◎ON/OFFモードに設定したセンサー付器具が2台以上あるグループは、検知⇒点灯して約1分間で消灯した後、次に検知⇒点灯する状態になるまでに約15秒間掛かります。

注意 ●グループが異なる(連動していない)センサー付器具からの設置距離は、必ず3.0m以上離して取り付けてください。
●グループが異なる(連動していない)センサー付器具からの設置距離が3.0m未満の場合、誤動作の原因となります。
●同一(連動)グループ内での器具の設置距離は、0.1m以上離して取り付けてください。


グループが異なる(連動していない)器具の設置距離



同一(連動)グループ内での器具の設置距離

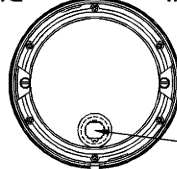


■センサーの名称



動作設定

点灯照度設定



照度・人感センサー
検知部(レンズ)

◎

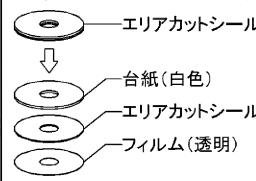
エアアカットシール
(付属品)

※紛失などの場合は、
東芝テクノネットワーク扱いの
サービス部品でお求めいた
けます。

品名：エアアカットシール
形名：OSEN-0002-MASK

※エアアカットシールは取扱説明書にホチキスで止めて出荷しております。

エアアカットシールの取り付け方



①台紙(白色)をはがしてください。
②エアアカットシールを、
センサー感知部に合わせて、
貼り付けてください。
③フィルム(透明)をはがしてください。

※一度使用したセンサーシールは、
粘着性が失われますので、繰り返し
ご使用はおやめください。

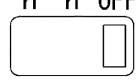
■設置後検知エリアを決定する

- 検知エリアを決定するには「テストモード」で行うと便利です。
「テストモード」は周囲が明るいときでも、人を検知するたびに約5秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。
- 1. 点灯照度設定スイッチを「テストモード」に合わせる。
- 2. 壁スイッチをONします。
※壁スイッチをONすると、約1分間全光点灯します。その後約15秒間消灯してからセンサーが動作します。
- 3. 人感センサー検知部を動かして位置を決めてください。
※センサーに向かって人が近づくような位置に検知エリアを設定すると、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。

●テストモード

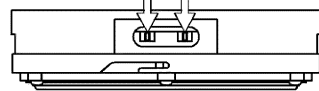
周囲の明るさに関係なく人を検知すると5秒間点灯します
※出荷時は、テストモードに設定されています。

1. [動作設定]のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

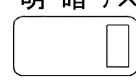


動作設定

8 6 ON/
h h OFF

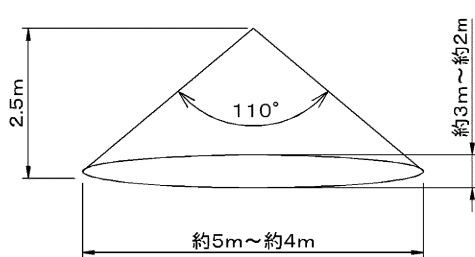


2. [点灯照度設定]のスイッチを「テスト」に設定してください。

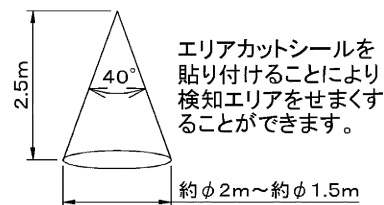


検知エリア

検知エリアは参考値です。
※照明器具の灯具の向きによっては検知エリアの距離を満足しない場合があります。
※検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
(特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。)



エアアカットシール使用時



■センサー機能について

- [動作設定]の切替スイッチを組み合わせることで、設定を変更できます。

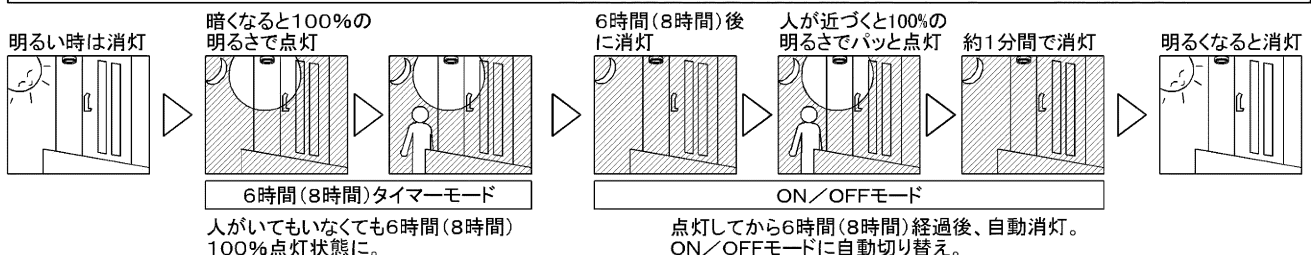
●ON/OFFモード

暗くなって人を検知した時だけ点灯させたい



●6h(8h)タイマーモード

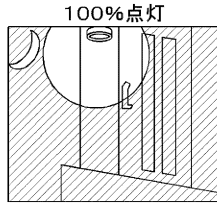
暗くなると自動点灯、6時間(8時間)後、人が来た時だけ点灯するON/OFFモードとなります



●連続点灯

まわりに関係なく点灯させたい

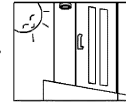
- 壁スイッチを操作して連続点灯(8時間)させることができます。



8時間後、設定されたモードにもどる

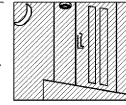
明るい時

どちらのモードでも
明るい時は消灯



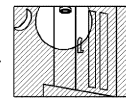
暗い時

ON/OFFモードに
設定しているとき



消灯で待機します。

タイマーモードに
設定しているとき



設定より暗い場合は
全光点灯します。

※点灯中に壁スイッチ操作(約1秒以内のOFF→ON)を行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯となります。

※壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切り替えることができません。

■設定方法

- 壁スイッチをONすると約1分間全光点灯します。その後約15秒間消灯してからセンサーが動作します。
- 使用中に切替スイッチを切り替えると、約15秒間消灯してから設定状態で動作します。(連続点灯を除く)

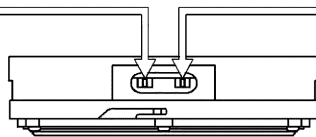
●ON/OFFモード

1. [動作設定]のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

動作設定
8 6 ON/
h h OFF

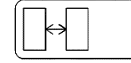


「ON/OFF」:人が近づくと点灯します。



点灯照度設定

明 暗 テスト



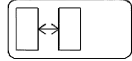
2. [点灯照度設定]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。

「暗」:約15ルクス以下となると待機状態となります。
「明」:約45ルクス以下となると待機状態となります。
※点灯照度は目安です。壁面・床面の色艶や離隔距離、周囲からの漏れ光などの影響により変化する事があります。

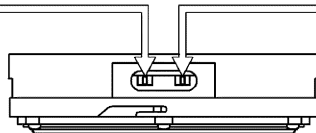
●6h/8hタイマーモード

1. [動作設定]のスイッチを「6h」または「8h」に設定してください。

動作設定
8 6 ON/
h h OFF

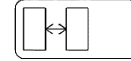


「6h」:6時間点灯し、その後ON/OFFモードに切り替わります。
「8h」:8時間点灯し、その後ON/OFFモードに切り替わります。



点灯照度設定

明 暗 テスト



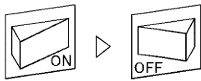
2. [点灯照度設定]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。

「暗」:約15ルクス以下となると待機状態となります。
「明」:約45ルクス以下となると待機状態となります。
※点灯照度は目安です。壁面・床面の色艶や離隔距離、周囲からの漏れ光などの影響により変化する事があります。

●連続点灯

●連続点灯設定方法

1. 壁スイッチを一度OFFさせて
2. 約1秒以内にONにする



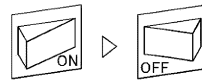
約1秒以内にON



・人の有無、昼間、夜間に関係なく、約8時間点灯します。

●連続点灯設定解除方法

1. 壁スイッチを一度OFFさせて
2. 5秒以上でONにする



5秒以上でON



※壁スイッチの[オフ]時間が5秒より短い場合は、強制ONモードが継続(100%点灯が8時間)されますので、必ず5秒以上[オフ]にしてから[オン]に戻してください。

■故障かな?と思ったら

■センサーの動作が故障かな?と思ったら下記を参照に点検を行ってください。

現象	考えられる原因	処置方法
周囲が明るくても人に反応し点灯する。	周囲が明るくなっていくときに、一瞬暗くなった。	人感センサーは周囲が明るくなり日中と認識するのに約1時間かかります。この時1時間の間は、動作が不安定になり人を検知して点灯する場合がありますが、周囲が十分に明るくなれば人を検知しなくなり、正常に動作します。
	センサーに蛍光灯やLEDの光が入っている。	照度センサーは蛍光灯やLEDなど点滅している光を検知しにくい場合があり、人の目では明るいとは判断されても、照度センサーが暗いと判断してしまう場合があります。蛍光灯やLEDの光が入らない位置に取り付けてください。

■故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置方法
周囲が暗く なっても点灯 しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工事店等に依頼してください。)
	センサーに周りの光が入っている。	光が入らないようにしてください。
	センサーに赤色の光が入っている。	照度センサーは赤色の光を検知し易い為、人の目では周囲が暗いと判断されても赤色光を検知して明るいと判断され、動作(点灯)しない場合があります。赤色光が入らない位置に設置するか、点灯照度設定を「明」にしてください。
人が近づいても 点灯しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工事店に依頼してください。)
	厚手の服を着ている。傘をさしている。	熱量を検知するためコート等を着込んでいたり、傘をさしていると体温が検知されず反応しない場合があります。※1
	人感センサーの検知部の表面に汚れが付着している。	水で固く絞った柔らかな布で軽く人感センサー検知部の汚れを落としてください。
	検知エリアに人が入っていない。	検知エリアの確認、調整を行ってください。P7
	照度検知に対し、周りが明るすぎる。	設定されたモードより暗くなると人感センサーが動作します。P7
点灯したままで 消灯しない。	連続点灯になっている。	センサーモードに戻してください。P8
	電源の瞬時停電でセンサーが連続点灯になっている。	電源の瞬時停電があると、連続点灯になる場合があります。P8
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	検知エリア内に、常に人感センサーに反応するものがある。	検知エリアから反応するものを取り除いてください。※2
	激しい雨が降っている。	人感センサー検知部についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合があります。	検知エリアの調整をしてください。※1
	センサーが故障している。	お買い求めの販売店・工事店等に修理をご依頼ください。
	6h/8hタイマーモードで夜間壁スイッチをONした場合、100%連続点灯状態となっている。	連続点灯を解除するにはいったん壁スイッチをOFFにし、5秒以上経過してからONにしてください。※4
人が近づかなく ても点灯する。	6h/8hタイマーモードで、周囲が暗くなった。	6h/8hタイマーモードは周囲が設定より暗くなると点灯します。
	検知エリア内にペットなどの動物がいる。	ペットなどの動物にも人感センサーは反応します。※1
	激しい雨が降っている。	人感センサー検知部についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合があります。	検知エリアの調整をしてください。※1
	検知エリア内を車などが通る。	車の通りが激しいところでは誤作動しますので、検知エリアの調整を行ってください。※1
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	電源電圧の一時的で急激な変動があった。	※3
	センサーが故障している。	お買い求めの販売店・工事店等に修理をご依頼ください。
	昼間でも周囲が暗い。	昼間でも周囲が暗い場合は夜と認識して点灯することがあります。
	人感センサーの検知部が温度の変化により発生するノイズの影響を受けている。	人感センサーの検知部は点灯・消灯などの温度変化により検知部に圧力が加わると検知信号を発信し、人を検知していなくても点灯する場合があります。
検知エリアに 人がいるのに 消灯する。	検知エリア内で動かなくなった。	検知エリア内に人がいても、動きがない場合には人感センサーが検知しないため器具が消灯します。 動くと人感センサーが検知し器具が点灯します。
	センサーの電源を都度、入り切りしている。	電源ON直後はセンサー内のマイコンが調整を行ってしまいますので、1度器具が点灯し消灯して待機状態となります。※3
明るさに関係なく 人に反応し点灯する。	テストモードになっている。	点灯照度設定のつまみを「明」または「暗」にしてください。P8
明るさに関係なく 点き放しになる。	誤った壁スイッチ操作や瞬間的な停電などで連続点灯モードになっている。	壁スイッチを5秒以上OFFにしてから再びONにしてください。 設定されているセンサーのモードに戻ります。P8
タイマーモードで朝 になっても消えない	タイマーモード同士でセンサー連動させている。	人感センサー器具同士でタイマーモードを連動させる場合、1台のみタイマーモードとし、残りの器具はON/OFFモードに設定してください。
点灯・消灯を繰り返す	検知面に他器具の光が当たっている。 また、壁や反射物に反射して自光に反応している。	他器具と距離を離して設置してください。 反射物に反応しないよう設置を考慮してください。

- ※1 人感センサーは赤外線検知方式となっています。これは検知エリア内の熱変化(温度変化)を検知する方式です。このため、検知エリア内でのペット等の動物の動きにも反応します。また、木や池等の水面が風等で動いた場合や、雨等の水滴が人感センサー検知部に付着した場合や、水滴が人感センサー前面を動いても反応することがあります。また冬季に厚手の服を着ている場合、体温が服の内部に閉じ込められて、水の表面温度が外気と差が無いために、人感センサーが反応しないことがあります。
- ※2 通常は周囲が暗くなり照度センサーが検知状態となってから人感センサーが動作します。人感センサーが検知して全光点灯状態のときは照度センサーは動作しません。この機能のため、周囲が暗い状態で人感センサーが動作し、検知し続けることにより点灯を維持すると周囲が明るくなっても器具は点灯したままとなります。
- ※3 電源投入直後は約1分間器具点灯状態となりセンサー内のマイコン調整を行います。マイコン調整が終了するとセンサーは約15秒間消灯してからセンサー待機状態となります。
- ※4 周囲が暗い場合に壁スイッチをONした場合、6h/8hタイマーモードがスタートします。タイマーモードは、最初に6時間ないし8時間設定されたタイマーが働き連続して100%点灯状態になり、この場合、周囲が明るくなくても点灯を維持します。

■使用上のご注意

- LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 安全上、LED光源を直視することはおやめください。
- 照射距離が短い場合や照射面等によって光ムラが気になる場合がありますのでご了承ください。
- 交流100V専用器具です。直流電流や交流200Vでのご使用はできません。
- LED光源は器具組み込みのため、交換できません。

■故障ではありません

- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。雑音が入る場合は、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。

■お手入れのしかた

⚠注意 お手入れの際は必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となります。

- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で湿したやわらかい布をよく絞ってからふいてください。

⚠警告

- 器具に直接水をかけて洗わないでください。水気の浸入による器具の破損、感電などの原因となります。

⚠注意

- 器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

■仕様

対象機種	定格電源電圧(V)	電源周波数(Hz)	消費電力(W)	入力電流(A)	待機消費電力(W)	光色
LEDG87935YL(W)-LS	AC100	50/60	5.2	0.109	0.3	電球色(2700K)
LEDG87935YN(W)-LS			4.7	0.100		昼白色(5000K)

※LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または全光束が点灯初期に測定した値の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間です。

⚠安全に関するご注意

- 照明器具には寿命があります。
 - 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
 - 年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。※「安全チェックシート」は当社ホームページに記載しています。
 - 3年に1度は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
 - 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証とアフターサービス

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規定をご確認ください。
修理を依頼されるときは『修理サービス規定』をご確認ください。

メーカー保証規定: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm

修理サービス規定: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm

ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または弊社ご相談センターにお問い合わせください。その際は商品の形名、お買い上げ時期、故障の状況などをお知らせください。



メーカー保証規定



修理サービス規定

保証について

- メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より(引き渡し日)3年間です。但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、1年間です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。※補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。※材料の終息等により、保有期間前に修理できない場合があります。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料: 無料)
携帯電話 046-862-2772 (通話料: 有料)
FAX 0570-000-661 (通話料: 有料)
ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。